

登録コード	T2043200	開講年度	2026					
授業科目	解析学(16T以降)					担当教員	阿部 誠	
英文授業名	Mathematical Analysis					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1 時限		対象学生	電子情報システム工学科 3 年生
講義室	IC3-100教室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】			
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ							
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				数学の基礎理論だけでなく、電気電子工学・通信工学・情報工学との関係性も理解することで、より実践的な数学の知識を修得・活用することができるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	数列や関数の極限操作や連続性、一様収束を厳密に証明するときに用いるイプシロン・デルタ論法を修得するために、数多くの例や例題、詳細な解答がまとまっている書籍を教科書として使用し、『自主的』に学習する。また、学習した内容をノートにまとめて毎回提出する。							
(5)授業計画	第1回 記号論理（第1章） 第2回～第4回 数列の極限（第2章） 第5回～第7回 関数の極限（第3章） 第8回～第10回 関数の連続性（第4章） 第11回～第15回 関数列の一様収束（第5章） （第15回の最後に授業アンケート実施）							
(6)成績評価の方法	毎回の課題：100点							
(7)成績評価の基準	秀：90点以上（基本的な概念のみならず、発展的な概念まで十分に理解しており、応用への展開もできる） 優：80点以上90点未満（基本的な概念を十分に理解しており、発展的な概念についてもある程度理解している） 良：70点以上80点未満（基本的な概念を十分に理解している） 可：60点以上70点未満（必要最低限の基本的な概念を理解している） 不可：60点未満（授業内容を理解していない）							
(8)事前事後学習の内容	教科書の内容をノートにまとめながら、しっかり自学自習すること。							
(9)履修上の注意	対象学生以外で受講したい方は、必ず担当教員の許可を得ること。							
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。 アドレスはabe[at]cs.shinshu-u.ac.jp（[at]をアットマークに変換）。							
(11)その他								
【教科書】	イプシロン・デルタ論法 完全攻略、原 惟行・松永 秀章 著、共立出版							
【参考書】	指定しない 参考書は自分に合ったものを自分で探すことが望ましい。							